

ご存じですか！文化財

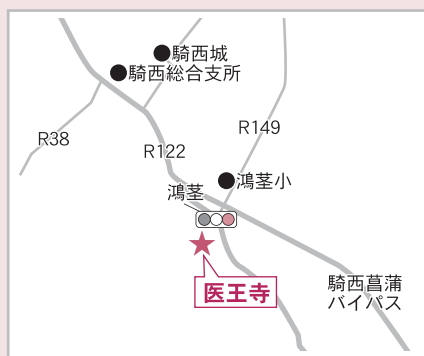
「医王寺算額」

市指定有形民俗文化財
平成16年3月8日指定

15



問合せ
騎西教育事務所
(☎内線153)



所在地 芋茎地内

昭和初期まで継承され、近年また見直す動きが見られます。
医王寺の算額は、明治32(1899)年、現代でいう幾何学の問題を解いたもので、当時の住職大橋獲寿をはじめ、和算家の都築源右衛門利治(1834~1925)の門人の他に世話人として医王寺総代3人の名も見られ、地域の関心の高さがうかがわれます。

今回ご紹介する文化財は、医王寺(鴻茎地区)に奉納された「医王寺算額」です。算額は和算において、数学の問題が解けたことを神仏に感謝し、益々勉強に励むことを祈念して奉納されたと言われています。やがて、人々の集まる神社仏閣を数学の問題の発表の場として、難問や問題だけを書いて解答をつけずに奉納するものも現れ、それを見て解答や想定する問題を再び算額にして奉納することも行われました。

この風習は江戸時代に始まり



このような風土が、後に「虚数乗法論」で世界的に名を知らしめた数学者の谷山豊(1927~1960)を生む背景となつているともいえます。

紹介者 来須 芳秋さん(芋茎)